

19	安城	明祥中学校	アサイ ミサ 名前 浅井美沙
分科会番号	7	分科会名	美術教育

研究題目 自らの考えや思いを、絵を使って「わかりやすく」表現することができる生徒の育成 ～「楽しく学べる絵文字」づくりを通して～

1 はじめに

第1学年の生徒は面白い考えを持ち、人を楽しませたいという思いがあるが、自分の言葉で表現することが難しい生徒が多い。例えば、日常生活や他の授業の中で自分の気持ちを発言する時、簡単な言葉で伝えることはできるが、更に深い内容になると考え込んでしまう。また、絵を描くことが好きで放課や部活動の中でよく描いている生徒が多い。その中で、言葉を介すよりも絵を描くことで自分の好きなことや思いを表現しやすい生徒がいることが分かった。

そこで、自らの考えや思いを、絵を使ってわかりやすく表現することができ、また、描いた絵に込められた思いについて話し合い、お互いのよいところを伝え合うことができる生徒の育成を目指す。

今回、生徒自身だけで納得し自由に描くだけではなく、他人にも自らの考えや思いを、絵を使ってわかりやすく表現する方法として「絵文字」を題材として選んだ。文字の形や色の効果を学び、ポスターカラーの扱い方を身に付け、「絵文字」を通して伝える相手や伝えたい内容などをもとに考え、表現することができるようにする。また、中間鑑賞を通して効果的な表現を積極的に取り入れ、より自分が目指す作品に近づけられることを目標とする。

2 研究の方法

(1) 仮説

[仮説1]

班で意見を出し合い、実際に絵文字をつくる時も班のままで行うことで、行き詰まった生徒が、他の生徒から絵文字づくりのヒントを得られるだろう。

[仮説2]

作品づくりの過程で、悩んでいること、疑問に思っていることを振り返りカードに書き、生徒の悩みを次の授業の冒頭で共有することによって、考えが深まり、解決に向かうことができるだろう。

(2) 研究主題に迫る具体的な手立て

① 「仮説1の手立て」

絵文字の鑑賞で見て考え、同じ題材で練習として実際につくってみる。そして、つくったものを級友と鑑賞し合い、自分の絵文字のよいところ、級友の絵文字のよいところを探す。それを基に、自分で決めた漢字一文字のアイデアを多く出す。この時に中間鑑賞を設け、自分と級友の絵文字が「誰が見てもわかりやすい」か、「絵が文字になってきちんと読める」かを話し合う。この時、自分の絵文字に足りないものを見つけることができれば、少しでもヒントになると考える。

② 「仮説2の手立て」

単元の始めから終わりまでの間、同じ振り返りカードを使い一時間の反省を書く。授業を

通して、自分の定めた目標を達成することができたか、目標を達成できなかったのであれば次回どうすれば目標を達成できるのかを考える。そして、目標を達成し、さらによりよい絵文字にしていくにあたっての工夫や気づいたことを書かせる。そこから、生徒が絵文字づくりで何に悩んでいるか、どのようなことに気づいたのか、よりよくする為の工夫に対してどうアプローチをしていくかなど、次回の授業に向けて、より今の生徒に合った解決方法を見つけていく。複数の生徒が同じ疑問を投げかけているもの、一人の生徒が見つけたとてもよい工夫に関しては、授業の始めに全体で情報を共有する。また、振り返りシートの裏に授業回数や授業内容をあらかじめ提示しておく。

(3) 検証の方法

生徒の制作活動、特に話し合いの場での取り組みの様子、授業プリントの振り返り等の記述内容、生徒の作品から学びの変容を追っていく。さらに抽出生徒を設定し、有効性を検証する。

① 抽出生徒Aについて

真面目で、学級では級長を務め、学級をよりよくしていこうという姿勢をもつ生徒。美術では、前単元や鑑賞の時、上手くポスターカラーを使用したり、絵で表現したりすることが技能的に難しかった。今回の話し合いの場を設けることで、様々な表現方法を知り、絵文字に生かすことができるだろう。

② 抽出生徒Bについて

美術では、前単元の時、ポスターカラーを使用する際に、どう使えばよいかを自ら分析し、振り返ることができていた。今回の授業プリントの振り返り等の記述内容で生徒Bが更によりよい作品にしていくに当たって、些細な疑問や生徒自ら考えた方法を実践し、級友へ作品についてより具体的に伝えることを通して、自身の作品づくりに生かすことができると予想する。

(4) 単元構想

単元構想を別紙にて記載する。

3 実践

(1) 有名デザイナーの絵文字を鑑賞する

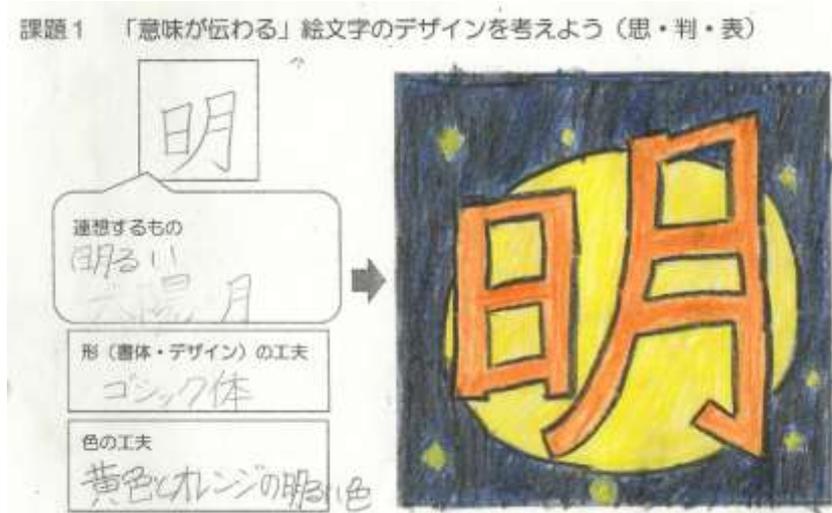
導入で、各都道府県の特産品がデザインされた都道府県名の絵文字を見せた。三つの都道府県の絵文字を見た生徒は、それぞれがどのような意味をもつデザインの絵文字なのか疑問をもち、個々の考えを班で伝え合いながらデザイナーの意図に迫り、一目で意味もわかる絵文字のデザインの工夫に触れることができた。生徒の振り返りには「絵文字を見て、関係のあるものをつなげるといいかも。」「絵文字はその文字の特徴とわかりやすさが必要だと思った。」など気づきがあった。そこから「誰が見てもわかりやすい」「絵が文字になってきちんと読める」のが絵文字には大切なのだと考え、どのような絵文字をつくれるかを全員で考えた。その後、生徒は自分でも絵文字を作りたいという思いをもち、どのような絵文字を制作するのか、どのような意味をもたせるのかなど、試行錯誤する姿が見られ、絵文字の制作に没頭する姿につながった。

(2) 絵文字のつくりかたを知るために、全員同じ文字で絵文字を試しに描いてみる

本課題に入る前に、絵文字のつくりかたを知るために、全員同じ絵字で絵文字をつくってみる課題に挑戦した。しかし、一部の生徒は、全員同じ文字で絵文字を試しに描いてみた授業の振り返りに「いろいろ組合わせてみて、本当に絵文字として読めるのか心配。(抽出生徒B)」など、自分でも絵文字を作りたいという思いをもったものの、実際につくるとなるとどうつくったらいいかわからないという声もあった。実際に「明」という文字で全員つくってみて、「いろいろ連想で考えて、実際に描いてみたら、うまく絵文字にできた。」という意見もあったが、多くは「前回の鑑賞で見た時に、自分でも描けそうだなと思ったけど、

やってみたら全然うまく描けなかった。」など似たような意見が多かった。他にも「アイデアは浮かんだが、実際に絵文字にすると文字が読みづらかった。」「とりあえず文字に絵を入れてみたけど、何か違うと思った。」など、やり方はわかるものの、実際にやってみると自分の想像以上に理想の絵文字を描くことができないという意見もあった。振り返りの中でいちばん気になった意見で「その文字の意味の連想はできるけど、それを絵にすることが難しかった。」というものがあつた。文字にしたいものは浮かんでいるが、実際に文字に絵をどのように入れればうまく絵文字をつくることができるのかを知りたいという生徒の困り感が授業の様子や振り返りで明らかになった。

抽出生徒Aは、「明」という文字から、「明るい」「月」という連想をしている。そこから絵文字にするのだが、抽出生徒Aは「明」という字をそのままゴシック体でレタリングし、背景に月を描き、表現した。使うモチーフや色は文字のイメージにぴったりのものであったり、わかりやすく読みやすいものであったりするのだが、ただ背景を変化させるだけでは絵文字とは言えないことを抽出生徒Aは悩んでいた。



【資料1】抽出生徒Aの絵文字「明」

(3) 絵文字を描くための自分の発想を広げるために、級友の作品を見る機会をつくる。

文字にしたいものは浮かんでいるが、実際に文字に絵をどのように入れればうまく絵文字をつくるのかを知りたいという生徒の困り感を解決する為、つくってみた「明」の絵文字を近くの級友や班で簡単な中間鑑賞を行った。この時、「伝えたいことは同じなのに、いろんなデザインの仕方があつた。」「他の子の作品は凄いけど、同じようにつくれば自分でも凄い絵文字ができないかな。」「文字に絵を入れるやり方が少しだけ、わかつた気がする。」など、鑑賞をして見せ合ったことにより、級友の作品から参考になることを自分で見つけ出すことができ、自分の作品に取り入れることができた。



【資料2】班で自分の考えた絵文字の案を発表する姿

この時、抽出生徒Aは、他の生徒の作品を見て、色を考えたり背景を考えたりするだけではなく、絵文字として文字を絵に置き換える必要があることを知り、本課題では、文字を絵に置き換えて、かつ「誰が見てもわかりやすい」「絵が文字になってきちんと読める」ものを目指すように目標を立てることができ、実際に描くことができた。

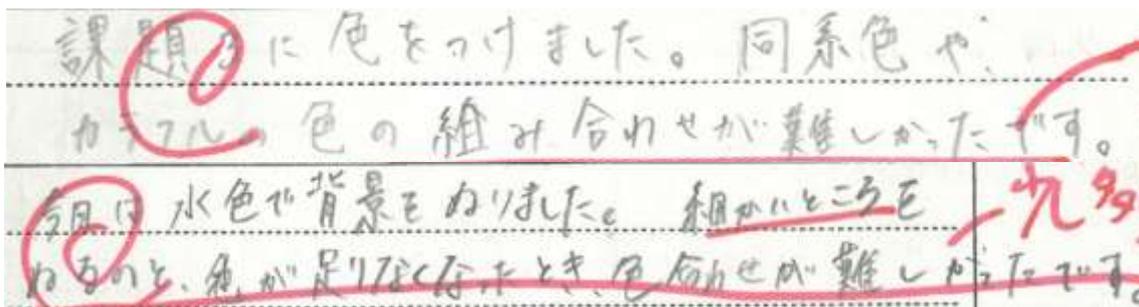
課題3 下描きをしよう(思・判・表)



【資料2】抽出生徒Aの絵文字「光」

(4) 絵の具を使う時の技術や悩みを共有する機会をつくる

本単元前に行ったポスターカラーの使い方の授業で、水の適切な量や、美しくムラなく描く方法や、混色するとどのような色になるかなどを学んだ。それを基に、本単元ではポスターカラーを使用して絵文字の彩色をした。この時に、「ポスターカラーの彩色ではみ出て他の色が混ざってしまい、うまくいかない。」「下書きのグラデーションを色鉛筆で描いたけど、ポスターカラーでのグラデーションがうまくいかない。」など、彩色での悩みを振り返りで書く生徒がいた。振り返りで悩んでいると書いていた生徒以外にも、筆の扱いや水の量をうまく調節できない生徒が少なからずいた。そこで、次時の導入で彩色の成功例を紹介し、全体に共有したことで、個々の課題に対する最適解や納得解が得られることにつながった。また、振り返りに朱書きを入れることも生徒の思いを大切にし、学びを深めることにつながった。



【資料3】抽出生徒Bの振り返り

抽出生徒Bは、「色の組み合わせを考えるのが難しい。」など、うまくいかないことを振り返りで書いていた。次時では、班でどのように難しいのか、そこからうまくいかないのはなぜか話し合い、解決に向かうヒントを自ら考えることができた。

他にも、「色が変化してムラができてしまい、うまく塗ることができない。」と振り返りで書いていた。ポスターカラーの技術面での悩みは、他の生徒も悩んでいたりと、あと一步のところまで諦めかけていたりしていた。そこで、抽出生徒Bだけに話すのではなく、全体でこの話題を共有した。この時、「もっと水を少なくしたらどうか。」「塗る方向を揃えるときれいに見える。」など、他の生徒から意見が出てきた。それを踏まえて作品づくりを開始すると、抽出生徒Bだけでなく、他の生徒もきれいに塗れるように意識しながらポスターカラーを使っていた。



【資料4】抽出生徒Bの絵文字「空」

4 結果と考察、成果と課題

(1) 研究の成果

① 仮説1について

個々に考えをまとめ、グループで意見を出し合い、実際に絵文字をつくる時も班のままで行ったことで、行き詰まった生徒が、他の生徒から絵文字づくりのヒントを得られることができた。

② 仮説2について

作品づくりの過程で、悩んでいること、疑問に思っていることを振り返りカードに書くことによって、生徒の悩みを次の授業の冒頭で共有し、考え、解決することができていた。また、授業回数や授業内容をあらかじめ提示しておくことで、自分が今どこまで進んでいて、これからどこまで頑張れば進めれば完成するか見通して作品をつくることができていた。

(2) 今後の課題

- ・班での話し合いの際、話し合いの例を掲示し、自分の絵文字の発表、他の生徒の絵文字に対して投げかける疑問を分かりやすくすることで、話し合いがスムーズにいくと感じた。
- ・班を作る際、4人の中で「アイデアが多く出ていて、ほぼ完成している人」「まだアイデアが出ていない人」を一人ずつ班の中に入れることにより、更によりよい話し合いができると感じた。
- ・毎時間の全体の目標の他に、自分の作品が今、どれだけ目標に達しているかを自分で評価し、自分の作品に対しての課題を自分で考え、目標を立てることができたら、さらによりよいものにしていったのかもしれないと感じた。

段階	主な手だて	□課題 ・生徒の思考
出会う	<p>絵文字がどのようなものかを知るために、有名なデザイナーの都道府県絵文字を鑑賞する。</p>	<p>1時「絵文字ってなんだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の意味がそのまま絵になっているのは、面白いな。 どんな県かわからなくても、絵文字を見ただけで、県の魅力がわかるのはすごいな。自分も絵文字をつくってみたいな。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">楽しく学べる絵文字をつくりたい！</p>
深める	<p>絵文字のつくりかたを知るために、全員同じ文字で絵文字を試しに描いてみる。</p> <p>絵文字に利用するアイデアをたくさん出せるようにするために、連想ゲームを全員で行う。</p> <p>絵文字を描くための自分の発想を広げるために、級友の作品を見る機会をつくる。</p> <p>きれいに絵文字を描くために、前単元(ポスターカラーの使い方)のおさらいを丁寧にする。</p> <p>ポスターカラーでの表現の幅を広げるために、グラデーション技法を取り入れる。</p>	<p>2時～4時「意味の伝わる絵文字デザインってなんだろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字の一部を絵にするのって、どこを絵にしたらいいのだろうか。 文字ばかりじゃ面白くないけど、絵だけだと何の文字かわからないな。 文字の意味が複数ある場合はどのような絵を入れたらいいのだろうか。 文字を見て、どんな意味があるかわかるようにしたいよね。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">(生徒の振り返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵文字するには、関連した絵を入れるとわかりやすい。 一目見て、文字が読めるように描く。 <p>5時</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">楽しく学べる絵文字を描くにはどうしたらよいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ぜんぜん思いつかない。みんなはどんなことを考えているのか気になる。 沢山思いついていろいろ絵にしてみたけど、統一感がないな。 どこを絵にしたらわかりやすくなるのだろうか。 みんなのアイデアが凄いな。自分も取り入れてみようかな。 例えば「明」だったら太陽を入れたい時に電球とか明るい子どもを入れるとまとまらないよね。太陽なら月や星と一緒に描くといいのかもしれない。 「読みやすいね」と言われたデザインで下書きを描いてみようかな。 <p>6～11時「ポスターカラーを使って、楽しく学べる絵文字を描くにはどうしたらよいのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> なるべく線に沿ってはみ出さないようにすると、きれいに描けるかも。 以前やったポスターカラーの練習を生かして描いてみよう。 色の変化を少しずつ試したら、きれいなグラデーションになるかな。 背景よりメインを目立たせるには、濃い色のほうがいいのか。 同系色でまとめるといいかも。 補色を使って文字を目立たせることはできないかな。
広げる	<p>絵文字の表現や見方をもっと広げるために、自分の作品の振り返りや級友の作品のよさを感じ取れる鑑賞の場を設ける。</p>	<p>12時 「みんなの楽しく学べる絵文字をみてみたい！！」</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ文字でも、それぞれ違って面白いな。 絵文字を見ただけで、文字とその由来がすぐにわかるね。 背景も、文字由来のものになっているんだね。 わかりやすくて、見ていて楽しい絵文字が描けるなんてすごいな。 みんなに絵文字の意味が伝わってよかった。